

しん
新

しゅん
春

たい
対

だん
談

えがお
笑顔あふれる新しい年に



たかぎ
高城れにさん
ももいろクローバーZ

やまなかたけはる
山中竹春
よこはましちょう
横浜市長

たかぎ
高城れにさん

ももいろクローバーZ

やまなかたけはる
山中竹春よこはま し ちょう
横浜市 長

明けましておめでとうございます。ももいろクローバーZの高城れにさんは、横浜市の出身です。横浜市での思い出や魅力についてお話をきき、2023年への思いについて話しました。

やまなか し ちょう
山中市長
たかぎ
高城れにさん

よこはま
横浜、大好きです！

Y 横浜市役所によろこ。この市庁舎をどう思いますか？

T みなとみらいの景色が見えて、横浜を楽しめる場所ですね。富士山も見えますね！

Y 横浜は、まち全体がテーマパークのようです。魅力的な場所がたくさん集まっています。高城さんは横浜生まれだそうですね。横浜にどんな印象をもっていますか？

T 横浜はお祭りが好きな人が多いと感じます。みなとみらいや中華街でイベントもたくさんありますし、開港祭もせいでいにかれますよね。先祖代々横浜に住んでいるので、一生横浜から出たくないと思うくらい、横浜が大好きです！

Y それをきいて、市長としても、とてもうれしいです。どんなところに遊びに行っていましたか？

T 子どものころは野毛山動物園やコスモワールドなど、いつも横浜で遊んでいました。ワールドポーターズや横浜駅の西口にも買い物に行っていました。大人になってからは野毛にお酒を飲みに行くこともあります。横浜は、大人も子どももいろいろな楽しみかたができる、まさにテーマパークのようなまちですね。

げいのうかい
芸能界も横浜から

Y 10代から活躍していますが、芸能界に入ったきっかけは何でしたか？

T きっかけはスカウトだったのですが、その場所も横浜でした。ライブはもちろん、ドラマの撮影など、お仕事でもよく横浜に来ています。

Y 横浜はチャレンジができるまちです。感性をみがける場所、刺激をうけられる場所だと思います。高城さんも芸能界に入ってから今まで、さまざまなチャレンジを続けていると思います。横浜出身の高城さんが活躍しているのが、すごくうれしいです。そして横浜の誇りだと思います。

T ありがとうございます。私が「横浜大好き」というのは、なじみがあるだけでなく、自分の中で落ち着けるまちだからです。それにはまちの雰囲気や人柄などが大きく影響していると思います。お仕事がいそがしくなっても、「横浜に帰れる」というのが芸能活動を続けてこられた理由のひとつだと思います。

Y それはうれしいですね。横浜には、先進的な場所もあるし、異国情緒あふれる(=外国のような)街並み

もあります。郊外に行けば、緑豊かな景色も広がっています。多様性がある風通しがよくて、オープンなまちですね。

T そうですね。とても開放的なまちだと感じています。都会もあれば、自然を感じられるところもあって、バランスがいい。家の近くでよくサワガニを見たことを思い出します(笑い)。

こそだ
子育てしたい、まちをつくる

Y 私は横浜の魅力さをさらに高めて、子育て世代に選ばれるまちをつくり、次の世代にしっかりとつないでいきたいです。これからの政策をまとめた中期計画では、「子育てしたいまち 次世代をともに育てるまち」を基本戦略にしました。横浜でもいよいよ人口がへり始めています。子育て世代のみなさんが横浜にきてくれば、地域や経済が元気になります。それが市民のみなさんへのもっとよい行政サービスや新しい活力にむすびつきます。そういうよい循環をつくり出していきたいです。

そのために、だれでも安心して出産や育児ができるよう、子育て世代への支援に力を入れています。その直接の支援のひとつが「子どもの医療費助成の拡充」です。高城さんは、「子どもの医療費」と聞いて思いうかぶことはありますか？

T 私は小さいころ、よくけがをする子どもでした。熱を出したり、お腹が痛くなるときもたくさんありました。だから「子どもの医療費」にはお金がかかるイメージですね。それに、子どもの病気やけがはいつ起きるかわからないので、よけいに負担が大きいと思います。

Y 子どもはきょうにかぜもひくし、けがもします。アレルギーやぜん息など基礎疾患があれば、定期的に病院に行かなくてはなりません。そういう家庭の負担をへらして、子どもたちの元気な成長をたすけたいと思っています。

T 子どもに、何かあった時にまよわず病院に行ける制度があるのは、とてもたすかると思います。そういう子育て世代にあたたかい環境は、すごくだいじですね。

きょうしゅく
中学校給食への思い

Y それからとくに力を入れているのが、中学校の給食です。高城さんは中学生のころ、お弁当でしたよね。

T はい。給食というと楽しいイメージがあります。中学校も給食があると、とてもたすかると思います。

Y 栄養バランスのとれた食事をこの時期に食べる。それが子どもたちにとってだいじだと思っています。

T 中学生は、部活動も活発になります。ちょうど体がつくれる基礎になる時期ですね。

Y そうなんです。栄養バランスのよい食事で成長期の子どもたちの健康をおうえんしたい。そして、保護者のみなさんに、お弁当を作る時間をお子さんといっしょにすごす時間にしてもらって、心のゆとりにもつなげていただきたいです。

T 私の両親も共働きだったのでよくわかります。朝早起きしてお弁当を作ってくれて、そのあと仕事に行くのを見て大変そうだなと思っていました。大人になるとやらなければならないことがたくさん増えますから、お弁当作りに使う時間は大変だなとあらためて思います。中学校給食で栄養バランスを考えてくれるのもたすかりますよね。

Y 中学校給食は、ごはんも温かいし、とてもおいしいんですよ。

T そうなんです。給食ってとてもすてきなことだと思います。小学生のころ、一か月の献立表が教室にはられて、それを見るのがすごく楽しみでした。みんなで食べる給食の楽しさだったり、学校で放送委員の放送があったりだとか、そういうことがよい思い出になります。給食があれば授業もがんばれますよね。あと1時間がんばったら給食だ!みたいな(笑い)。



▲中学校給食イメージ

つづ
住みやすいまち、住み続けたいまち

Y 私は横浜を「住みたい、住み続けたい」と思えるまちにしたいと思っています。高城さんは、コンサートなどでいろいろな都市に行くと思いますが、どのようなまちに魅力を感じますか？

T 全国47都道府県の、どのまちもすてきなまちだと思いますが、やっぱり生まれ育った、なじみのある横浜がすきという気持ちがあるのも、横浜のようなまちに住みたいです(笑い)。横浜市民の人は、「横浜出身である」ということに誇りを持っていると思います。みなさんが横浜市歌を歌えるイメージがあります。私は毎朝学校の朝会で横浜市歌を歌って、一日が始まっていました。



Y そこが横浜の「市民力」や「地域の団結力」のもとになっているのかもしれないね。

T 横浜には、歴史的な建物もたくさんあります。歴史もだいにしながら、新しい施設もできている。どんなまちが進化していて素晴らしいと思います。

元気の秘訣

Y 高城さんは、コンサート、テレビ、ラジオ、CMなどいろいろな方面で活躍していますね。とてもいそがしい毎日だと思います。そのいそがしさを乗り越える、いつも元気な秘訣は何ですか？

T 休日には、よくふらっと横浜の海に散歩に行くんです。定期的に海に行き、リフレッシュするというのが自分の中での日課になっています。横浜で、おいしいランチやショッピングをするのもリフレッシュのひとつです。

Y 横浜ですごく時間が高城さんの元気の秘訣になっているのはうれしいですね。私たちは高城さんの笑顔にいやされて、元気をもらっています。これから

も、たくさんみなさんに横浜のまちで元気をチャージしてもらるように、もっともっと横浜の魅力をみがいしていきたいと思います。

ももいろクローバーZ結成15周年

Y 2023年は、ももいろクローバーZの15周年の記念の年ですね。

T 15年続けられているのは、まわりのサポートがあったからで、奇跡的なことだと思っています。感謝の気持ちと初心（＝初めのころの気持ち）をわすれないで、ライブをたくさんやりたいと思っています。個人的には、地元・横浜でライブがしたいです。そしてできれば、横浜をももクロゆかりのまちのひとつにしたいと思っています（笑い）。

Y ぜひおねがいします！このところ、横浜の中心部の海のそばには、たくさんの音楽施設がぎゅぎゅぎゅにできています。大小さまざまな音楽施設がひとつのエリアに集まっている都市は世界でもめずらしいです。この強みを国内外に広く発信して、「音楽のまち」として新し

いにぎわいをつくっていきたくと思っています。ぜひももクロにも、横浜でたくさんライブをしてもらえたらうれしいです。

T 私もみなさんにたくさんの笑顔をとどけられるように、がんばります！

Y 高城さんがこれから、もっともっと活躍するように心から応援しています！私も横浜市長として、ひとりでも多くの方が、高城さんのように横浜の魅力を感じて、好きになってくれるように、全力をつくしていきます。



▲2023年秋には音楽施設Kアリーナもオープンする予定（イメージ）

プロフィール

高城れに

1993年6月21日生まれ、横浜市出身。2008年にももいろクローバーZのメンバーに。担当カラーは紫、特技はダンス。2015年にメンバーで初めてソロコンサートをして、その後は1年に1回のペースでソロコンサートを行っています。2020年にはNHK連続ドラマ「彼女が成仏できない理由」で主演。2021年に初めてのソロアルバムもリリース。2022年に結婚し、これからはもっと活躍することが期待されます。



ももいろクローバーZ

ももいろクローバーZは、百田夏菜子、玉井詩織、佐々木彩夏、高城れにの4人によるガールズユニット。次世代の新人プロジェクトとして2008年春に結成。グループの名前は「ピュアな女の子が、幸せを運びたい」という意味を込めて「ももいろクローバー」となりました。ストリートライブから活動を始めて、国民的アイドルグループに。ドラマやバラエティ、ラジオ、CMなどいろいろな方面に活躍の場を広げています。



広報紙閲覧サービス
カタログポケット

高城れにさんとの対談記事は
ウェブページでも読むことができます

こんなメリットがあります

通勤や通学のとき、あいた時間にチェックできます
文字ポップアップ機能で、読みたい記事をすきな大きさと読めます
そのほか、いろいろな言語への自動翻訳、音声読み上げもできます



かわいいことは、
こちらから



海、港、緑、歴史、地域、人々など、さまざまな魅力を持つ横浜。このまちの彩りを「よこはま彩見」として届けていきます。

この季節は、年賀状や書初めで、文字にふれることが多いです。第1回は、横浜と文字の物語です。



金属活字の伝来と情報発信のはじまり

横浜市歴史博物館 学芸員 石崎 康子

パソコンやスマートフォンで使われる文字は、デジタル化された書体(デジタルフォント)です。デジタルフォントにはさまざまな書体がありますが、そのひとつに明朝体があります。

明朝体は、中国の明王朝・清王朝の初めごろ(14~17世紀)に、整版(木版)印刷のために作られた書体でした。印刷技術が整版から活版(=活字をならべて文にした印刷用プレート)になると、活字が金属で作られるようになりました。

おどろくのは、中国語のための明朝体の漢字活字は、ヨーロッパでできたことです。これはヨーロッパで東洋についての学問がさかんになったからです。その後、この印刷技術は、ア

ジアでキリスト教の伝道とともに、中国に伝わりました。そしてそれは、1869年に、上海から長崎に伝えられて、つぎの年には横浜に伝えられます。活版印刷術によって印刷される文字数と部数は大きくふえました。印刷物を通した情報量がふえたために、横浜は日本の中心的な情報発信の基地になっていきました。

いま行われている展示では、活版印刷と明朝体活字の始まり、活字と印刷術がどのように日本に来たか、そしてその後の発展の歴史をたどります。いま私たちはデジタルフォントにかまかれています。文字文化の原点を見にきませんか。



▲展示タイトルを活字で組んだ組版(組版の画像を反転)

企画展「活字 近代日本をささえた小さな巨人たち」

2月26日(日)まで横浜市歴史博物館(市営地下鉄「センター北」駅下車、歩いて5分)で開かれています(入場料がかかります)。



きくところ

横浜市歴史博物館 TEL:045-912-7777 FAX:045-912-7781

「横浜市LINE公式アカウント」で横浜をもっと知る、もっと楽しむ

さまざまな横浜市の情報の中から、自分が見たい情報が見られます。

およそ67万人が利用しています!

友だち登録はこちら



たとえば、こんな情報があります

季節の観光イベント情報



くらしに役立つ市からのお知らせ



ほしい情報を選べます

トーク画面の「受信設定」から、カテゴリーを選べば、自分がほしい情報だけがうけとれるようになります。

【カテゴリー】

- 新型コロナ
- 防災
- 観光・イベント
- お知らせ

※新型コロナ以外のカテゴリーは、さらに区を指定して選べます。



きくところ

政策局広報課 TEL:045-671-2349 FAX:045-661-2351

しんがた かんせんしょう じょうほう 新型コロナウイルス感染症についての情報

※12月12日の情報をもとにしています。国の方針などによって、内容が変わることがあります。

はつねつ しょうじょう 発熱などの症状があるとき

ねつ 熱が出るなど、体のぐあいが悪くなったときのために、けんさ 検査キットや店で買えるげねつちんつうやく 解熱鎮痛薬を家におくようにしてください。

つぎの4つすべてにあてはまる人は、けんさ 検査キットで自分でけんさ 検査して、ようせい 陽性だったら、ようせい 陽性者登録窓口へ登録するようにしてください。



ぐあいが悪くなったときの連絡先などを教えてくれます。

ようせい 陽性者登録窓口はこちら

64歳以下

中学生以上

にんしん 妊娠していない

きそっかん 基礎疾患などがない人

それ以外の人や、症状がひどい場合には、いりょうき 医療機関でみてもらいましょう。

これからも、基本的な感染対策を
きちんと続けてください。

これから ワクチン接種について

よこはまし 横浜市では、いりょうき 医療機関で行う個別接種のほかに、しゅうだんせつしゅかいじょう 集団接種会場でも接種をしてみました。接種を希望する人が多い時期が終わるので、しゅうだんせつしゅかいじょう 集団接種会場は、1月からだんだん、規模を小さくしていきます。いりょうき 医療機関では、3月の終わりまで、これまでと同じように接種を行います。



接種場所について
くわしいことは
こちら

【1月の集団接種】9つの会場で行います。以下の①～⑥の会場では、1月で接種が終わります。

会場名	5日(木)～15日(日)	16日(月)～31日(火)	接種の最後の日
① ローゼホール横浜駅会場	水・金・土・日	—	13日(金)
② 桜木町・馬車道会場	木・金・土・日	土・日	22日(日)
③ 並木中央会場 ④ 鶴見会場 ⑤ 希望ヶ丘会場	火・水・金・土	金・土	28日(土)
⑥ TKPみなとみらい駅前会場	水・木・金・土	—	—
⑦ センター南会場 ⑧ 戸塚会場	火・水・金・土	金・土	2月は金・土
⑨ 横浜駅西口会場	火・木・金・土	火・金・土	2月に実施

※集団接種→ファイザー社 (BA.1) ワクチンを使います。

※会場①だけファイザー社 (BA.4-5) ワクチンを使います。

※個別接種→医療機関によって使うワクチンがちがいます。

ワクチン接種の期間は3月の終わりまでとなっています。早めに接種することを考えてください。

よこはまし しんがた かんせんしょう
横浜市の新型コロナウイルス感染症についてきくところ TEL:0120-547-059 FAX:045-846-0500 1日24時間いつでも

しんがた せつしゅ
新型コロナワクチン接種についてきくところ TEL:0120-045-070 FAX:050-3588-7191

毎日9:00～19:00 ※小さい子ども、赤ちゃんの接種についての問い合わせは18:00まで

市版デザインリニューアルしました

紙面のデザイン・記事のタイトル・フォント・行間を見なおしました。
もっとたくさんの市民のみなさんが読んでくれるように、魅力がある広報紙にしていきます。